



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月24日

上場会社名 株式会社 ASJ  
 コード番号 2351 URL <http://www.asj.ad.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 丸山 治昭  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 中島 茂喜  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 048-259-5111

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	1,122	2.0	6		3		7	
29年3月期第2四半期	1,100	72.3	82		85		87	

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 7百万円 ( %) 29年3月期第2四半期 93百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	0.98	
29年3月期第2四半期	13.85	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	4,125	3,148	76.3	400.93
29年3月期	3,908	2,067	52.8	306.12

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 3,148百万円 29年3月期 2,063百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		2.00	2.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,530	10.2	30		28		20		2.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 有  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	7,947,100 株	29年3月期	7,253,500 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	94,900 株	29年3月期	511,500 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	7,490,905 株	29年3月期2Q	6,353,166 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(会計方針の変更)	P. 7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、地政学的リスクが存在するものの、雇用情勢の改善が続く中、海外景気や個人消費の回復等により、緩やかな回復基調が継続しております。

このような経済状況の中、当社グループでは、グループ経営の強化による売上高が増加したこと等により、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,122,104千円（前年同期比2.0%増）となりました。

利益面におきましては、将来の収益増加に向けた積極的な研究開発活動及び営業活動を行う等の先行的な費用を計上しておりますが、売上高の増加に加え、当社とのシナジー効果による子会社の収益化が進んだこと等により、営業利益6,105千円（前年同期比88,502千円増）、経常利益3,860千円（前年同期比89,514千円増）を計上いたしました。子会社の業績が好調による税金費用の発生等により、親会社株主に帰属する四半期純損失は7,373千円（前年同期比80,601千円増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、資金調達を実施したこと及び収益拡大に向けた新たなサービス提供のために必要となるアプリケーションの開発等、積極的な投資活動を行った結果、前連結会計年度末と比べ217,636千円増加し、4,125,755千円となりました。

負債につきましては、短期借入金を全額返済したこと等により、前連結会計年度末と比べ862,816千円減少し977,604千円となりました。純資産につきましても、前連結会計年度末と比べ1,080,452千円増加し、3,148,150千円となり、自己資本比率は、前連結会計年度末と比べ23.5ポイント上昇し76.3%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、例年同様、当社グループの売上高及び利益が第4四半期に集中する傾向にあり、当初の予想の範囲内で推移していることから、平成29年5月11日の「平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,147,585	1,178,155
受取手形及び売掛金	116,274	138,556
有価証券	9,666	9,715
商品及び製品	36,601	40,567
仕掛品	19,264	12,504
原材料及び貯蔵品	1,260	2,363
その他	279,927	357,116
流動資産合計	1,610,579	1,738,979
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	519,584	511,595
土地	793,720	793,720
その他(純額)	25,785	23,477
有形固定資産合計	1,339,090	1,328,793
無形固定資産		
のれん	257,524	242,014
その他	628,883	742,530
無形固定資産合計	886,408	984,545
投資その他の資産	68,660	64,986
固定資産合計	2,294,159	2,378,324
繰延資産	3,380	8,451
資産合計	3,908,119	4,125,755

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	78,736	66,369
短期借入金	991,000	—
未払法人税等	17,341	21,718
賞与引当金	19,982	26,852
その他	522,142	654,419
流動負債合計	1,629,203	769,360
固定負債		
退職給付に係る負債	141,993	139,238
役員退職慰労引当金	24,440	24,440
その他	44,783	44,565
固定負債合計	211,217	208,244
負債合計	1,840,421	977,604
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	919,250	1,373,833
資本剰余金	778,175	1,242,194
利益剰余金	595,029	574,172
自己株式	△228,858	△42,460
株主資本合計	2,063,596	3,147,741
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	165	174
為替換算調整勘定	71	234
その他の包括利益累計額合計	237	409
新株予約権	3,863	—
純資産合計	2,067,697	3,148,150
負債純資産合計	3,908,119	4,125,755

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	1,100,049	1,122,104
売上原価	720,037	679,152
売上総利益	380,011	442,952
販売費及び一般管理費	462,409	436,846
営業利益又は営業損失(△)	△82,397	6,105
営業外収益		
受取利息及び配当金	500	46
業務受託手数料	39	198
その他	356	571
営業外収益合計	896	817
営業外費用		
支払利息	3,289	1,509
新株予約権発行費償却	520	780
株式交付費償却	—	731
その他	341	40
営業外費用合計	4,151	3,061
経常利益又は経常損失(△)	△85,653	3,860
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△85,653	3,860
法人税、住民税及び事業税	4,100	11,233
法人税等合計	4,100	11,233
四半期純損失(△)	△89,754	△7,373
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,779	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△87,974	△7,373

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純損失(△)	△89,754	△7,373
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	9
為替換算調整勘定	△3,341	162
その他の包括利益合計	△3,337	171
四半期包括利益	△93,091	△7,201
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△91,312	△7,201
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,779	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、行使価額修正条項付第1回新株予約権の行使による自己株式の処分及び新株発行により、資本金が454,583千円増加するとともに、資本剰余金が464,019千円増加、自己株式が186,397千円減少しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金は1,373,833千円、資本剰余金は1,242,194千円、自己株式は42,460千円となっております。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

税金費用の計算は、従来、四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて算定しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、年度決算と同様の方法による税金費用の計算における簡便的な方法に変更しております。この変更は、各四半期の利益に対応した税金費用を精緻に計算して計上する為であります。

なお、当該会計方針の変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であるため、遡及適用はしていません。